

※利用者様は補修を行わず、補修については製品をお求めになった販売店にご相談ください。

3版

AT-CRシリーズ メンテナンス・交換マニュアル



このマニュアルは必ずお読みいただき、大切に保管してください。

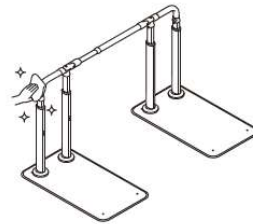
このマニュアルは必ず取扱説明書と合わせてよくお読みいただき、十分ご理解の上、マニュアルに沿って作業を進めてください。
なお、誤った交換などによるトラブルなどについては弊社は一切保証いたしかねます。

1. 通常メンテナンスについて

日常のお手入れ方法

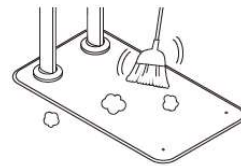
(手すり、支柱、ベースプレート部分)

- お手入れはやわらかい布で乾拭きするか、固くしぼった布で水拭きしてください。
- 汚れがひどい時は中性洗剤をしみこませたやわらかい布でふき、その後水拭きをしてから乾いた布で水分をきれいにふきとってください。



(滑り止めシート部分)

- 毛先のやわらかいブラシなどで掃いて、表面の砂や土などの汚れを落としてください。
- 汚れがひどい時は中性洗剤を使用しブラシなどで洗い、その後水で洗い流し、風通しの良い場所で乾かしてください。



消毒方法

消毒は納入業者、または消毒施設のある業者に依頼してください。
製品の消毒は、アルコール清拭消毒、逆性石けん清拭消毒などを推奨します。
製品に使用している素材の物性を考慮した消毒方法を選択してください。

次にあげるものではお手入れしないこと

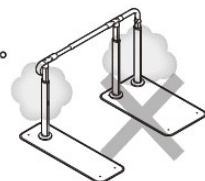
- ・シンナー ・クレゾール
- ・酸、アルカリ性洗剤
- ・塩素系薬剤（洗剤）や熱湯（煮沸消毒など）による殺菌、消毒
- ・磨き粉、タワシ、研磨剤入りスポンジ、その他製品を傷つけるもの

製品が劣化し、破損の原因になります。



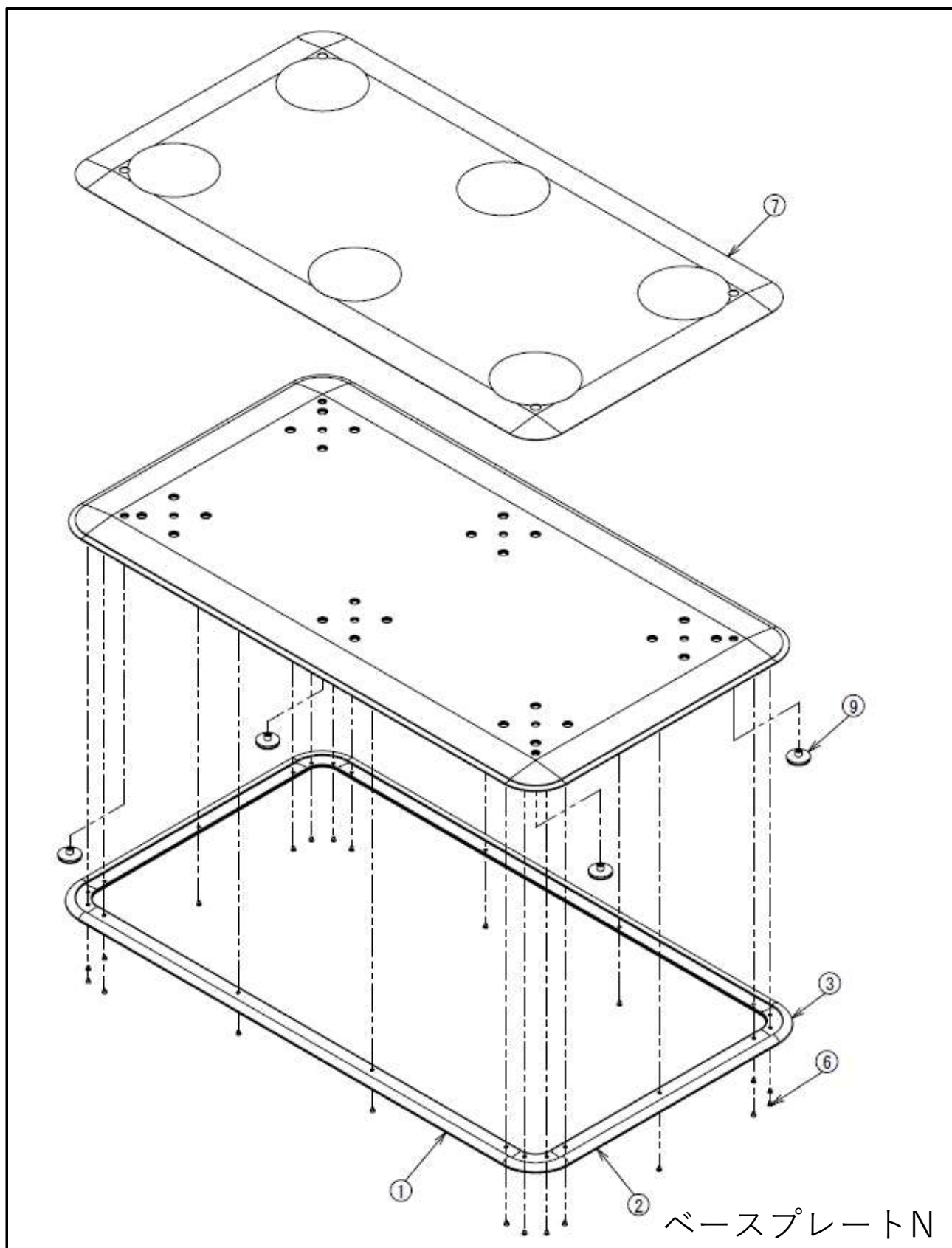
消毒に、オゾンガス、ホルムアルデヒドガスは使用しないこと

製品が破損する原因になります。



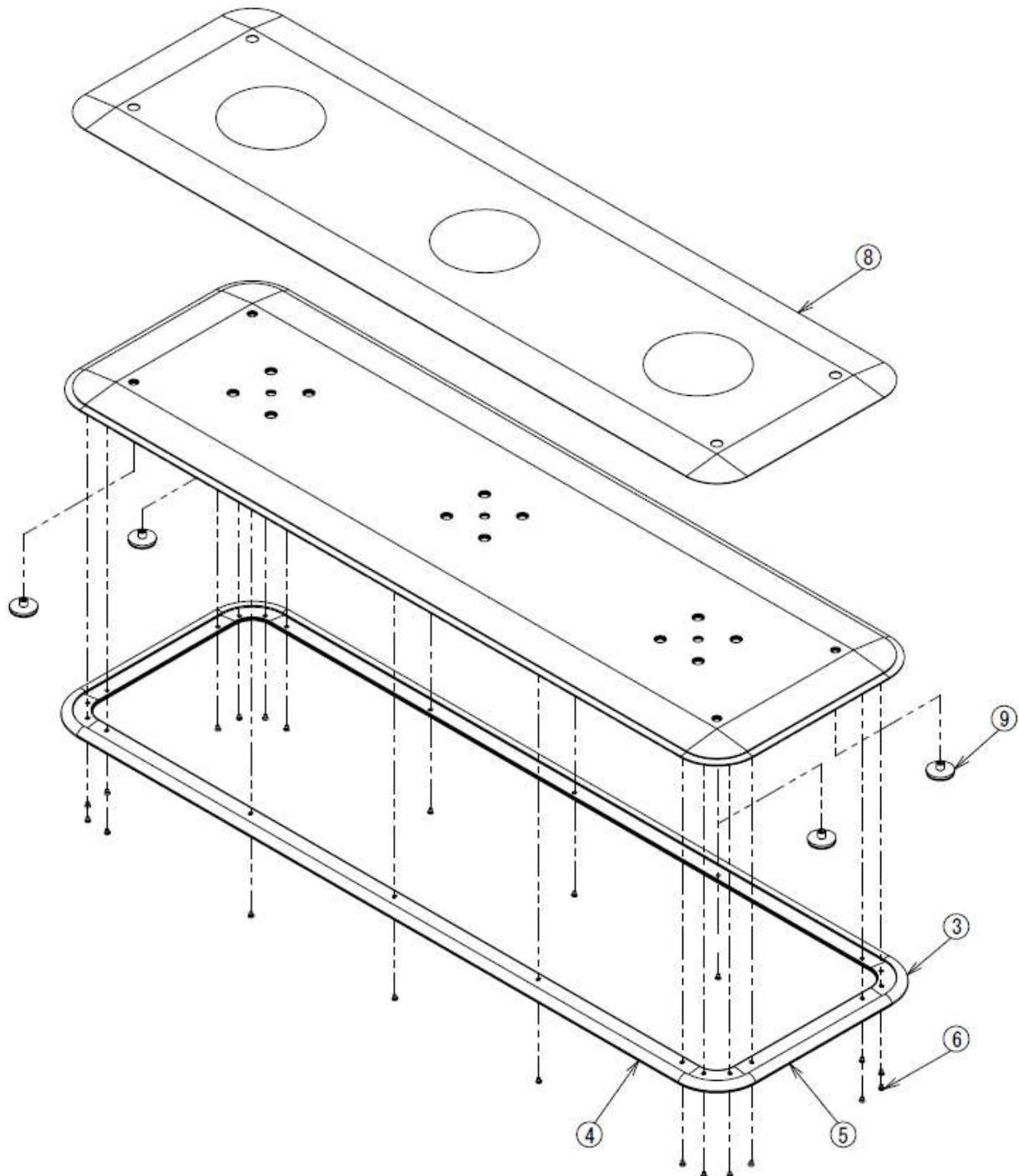


2. 交換部品について ※製品仕様は予告なく変更する場合があります。





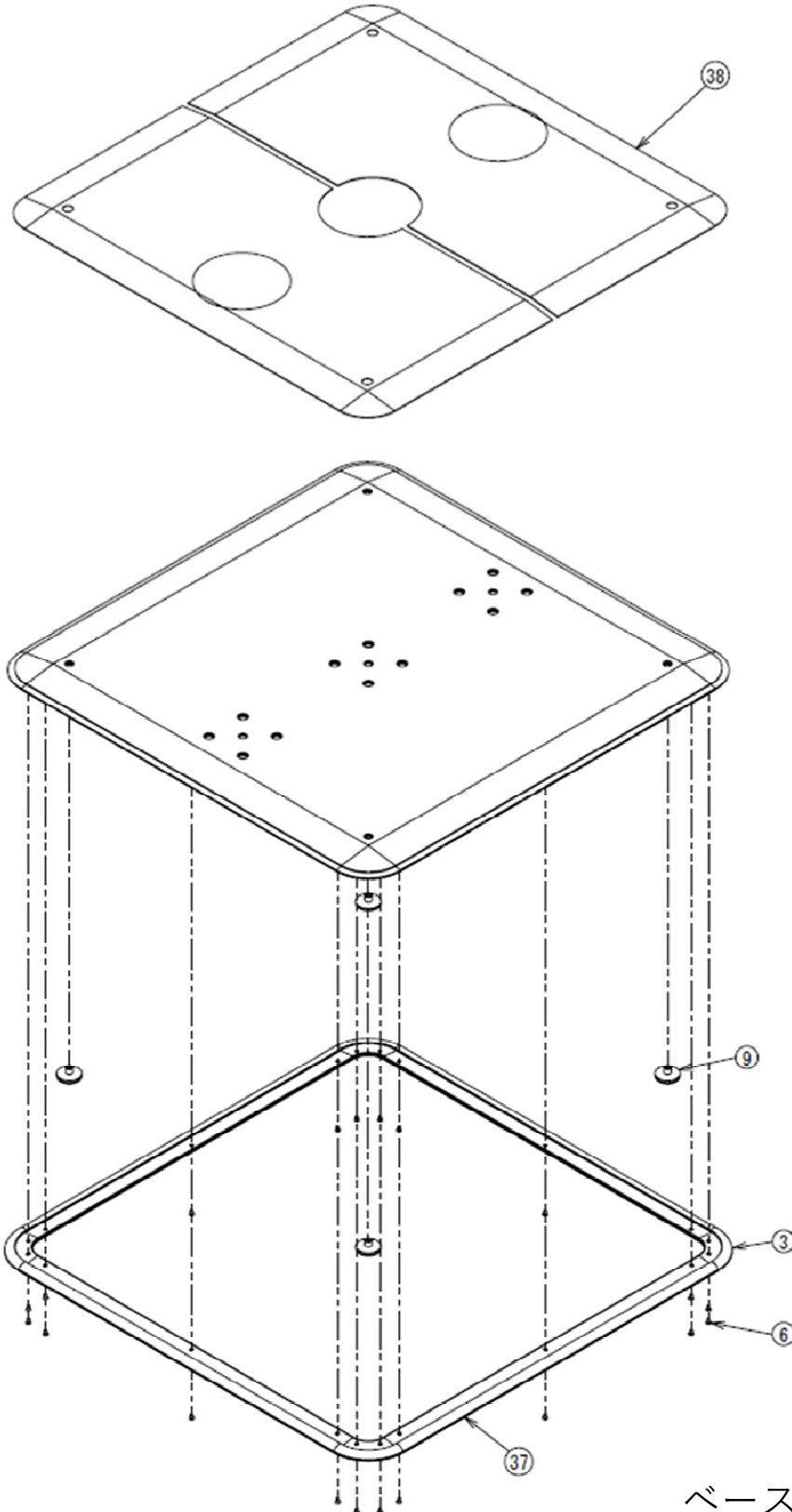
2. 交換部品について ※製品仕様は予告なく変更する場合があります。



ベースプレートS



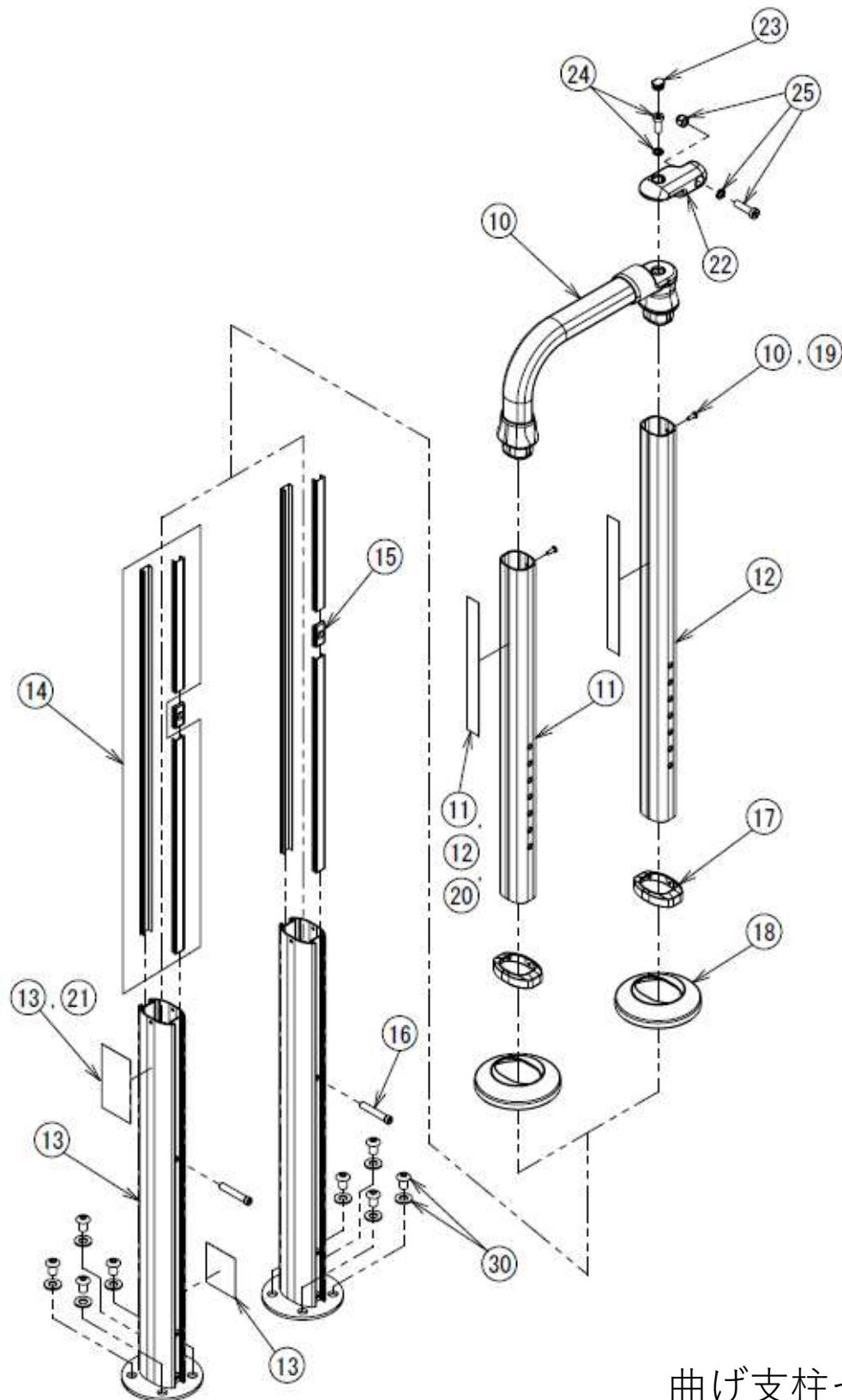
2. 交換部品について ※製品仕様は予告なく変更する場合があります。



ベースプレートM



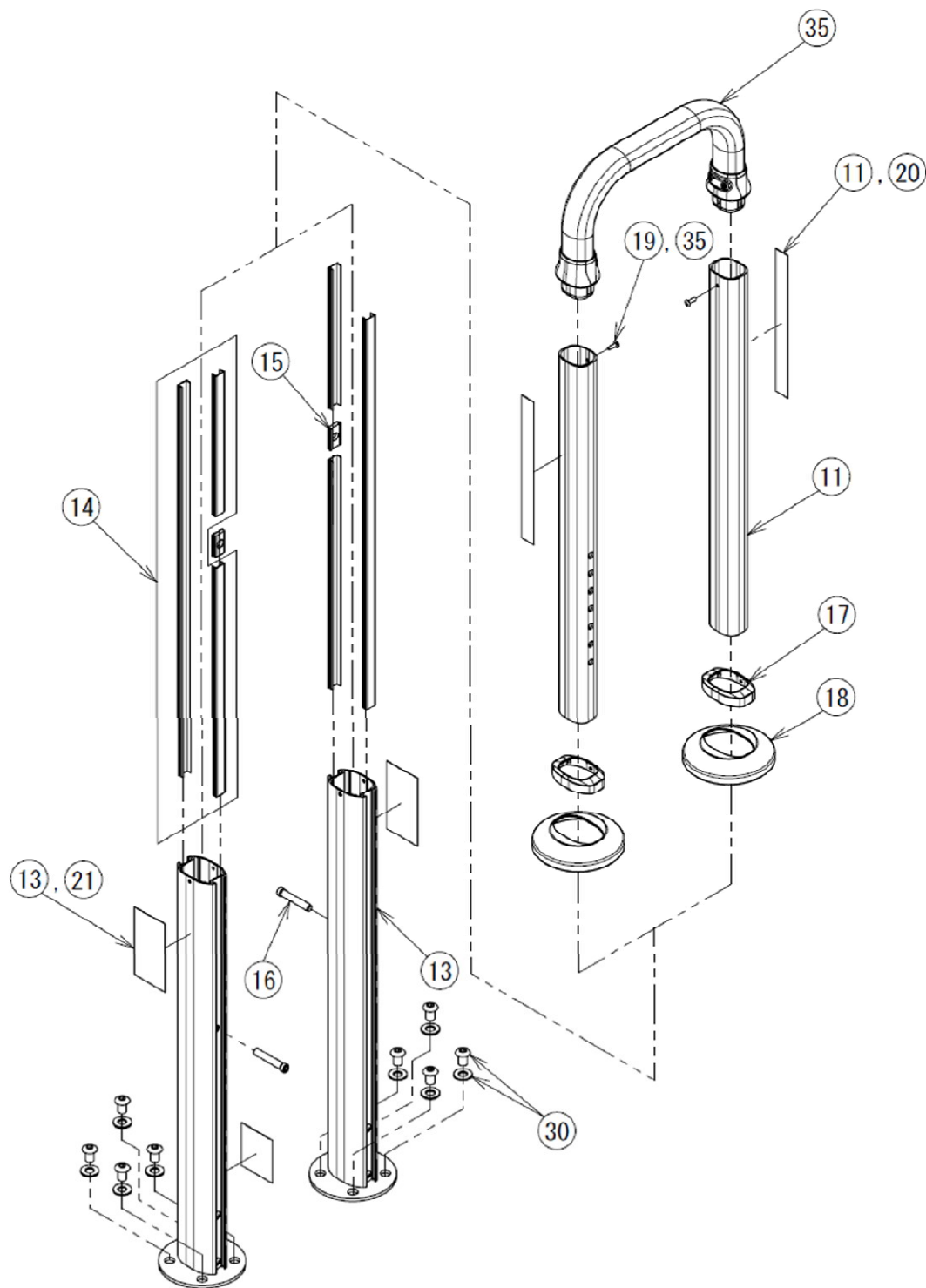
2. 交換部品について ※製品仕様は予告なく変更する場合があります。



曲げ支柱セット



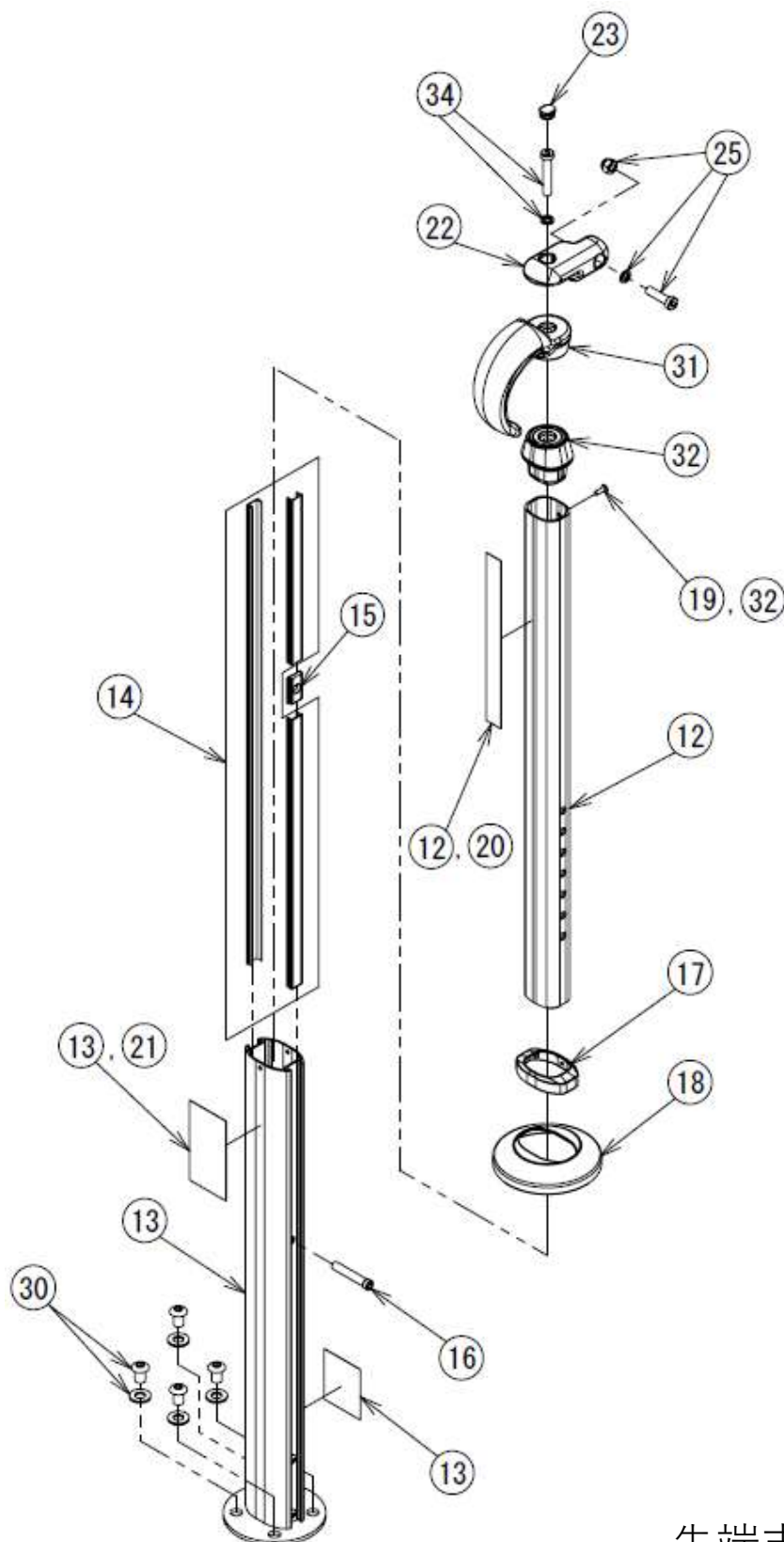
2. 交換部品について ※製品仕様は予告なく変更する場合があります。



240支柱セット



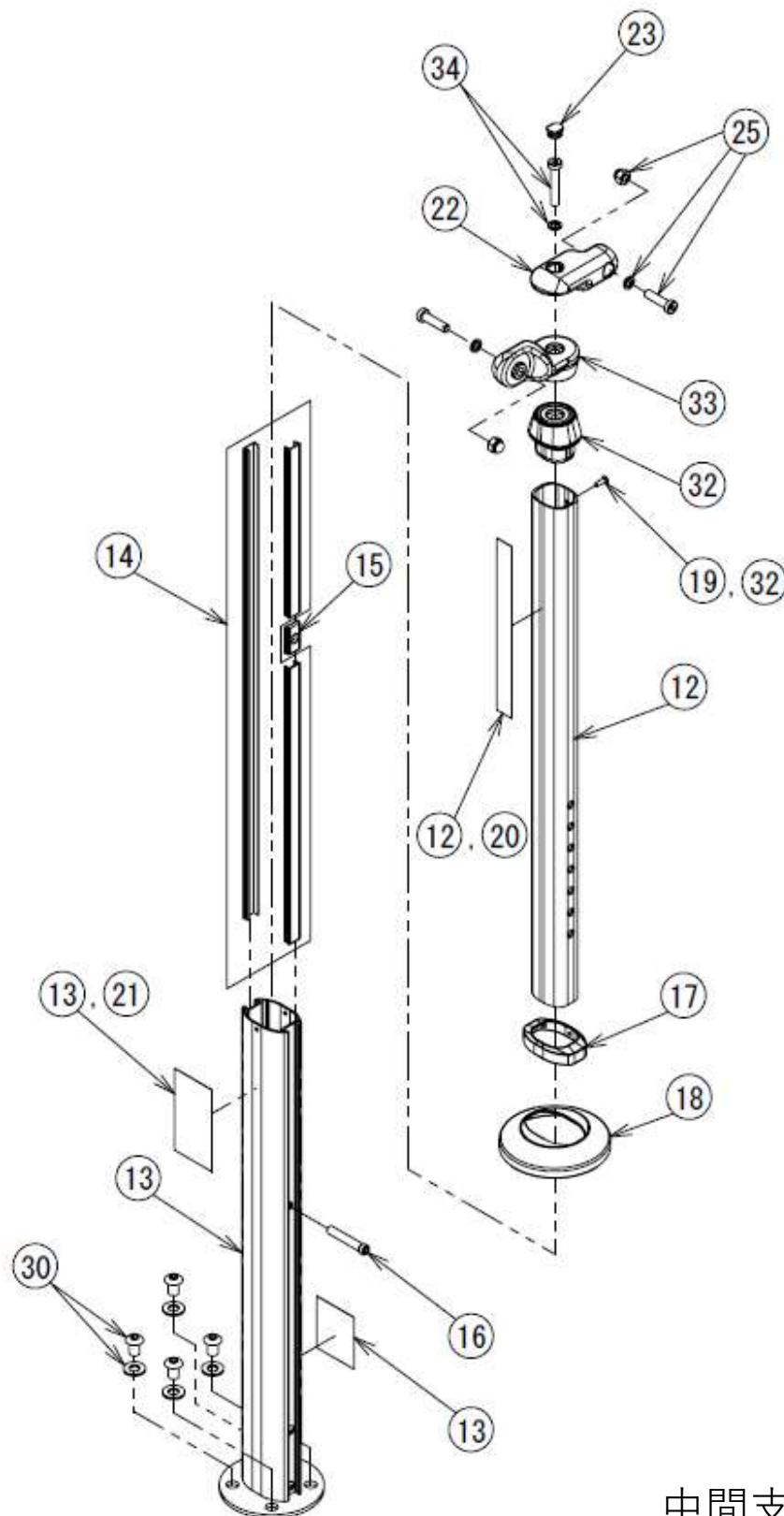
2. 交換部品について ※製品仕様は予告なく変更する場合があります。



先端支柱セット



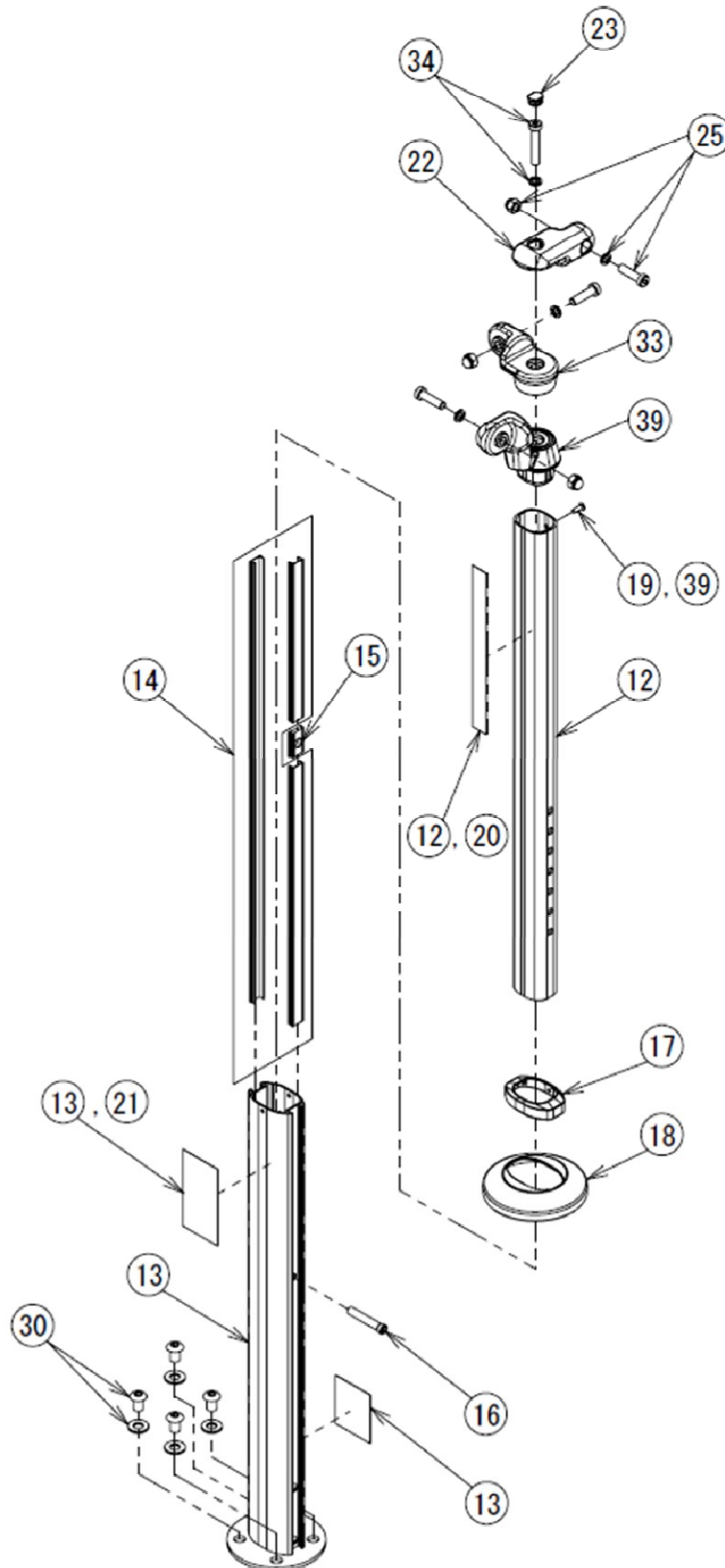
2. 交換部品について ※製品仕様は予告なく変更する場合があります。



中間支柱セット



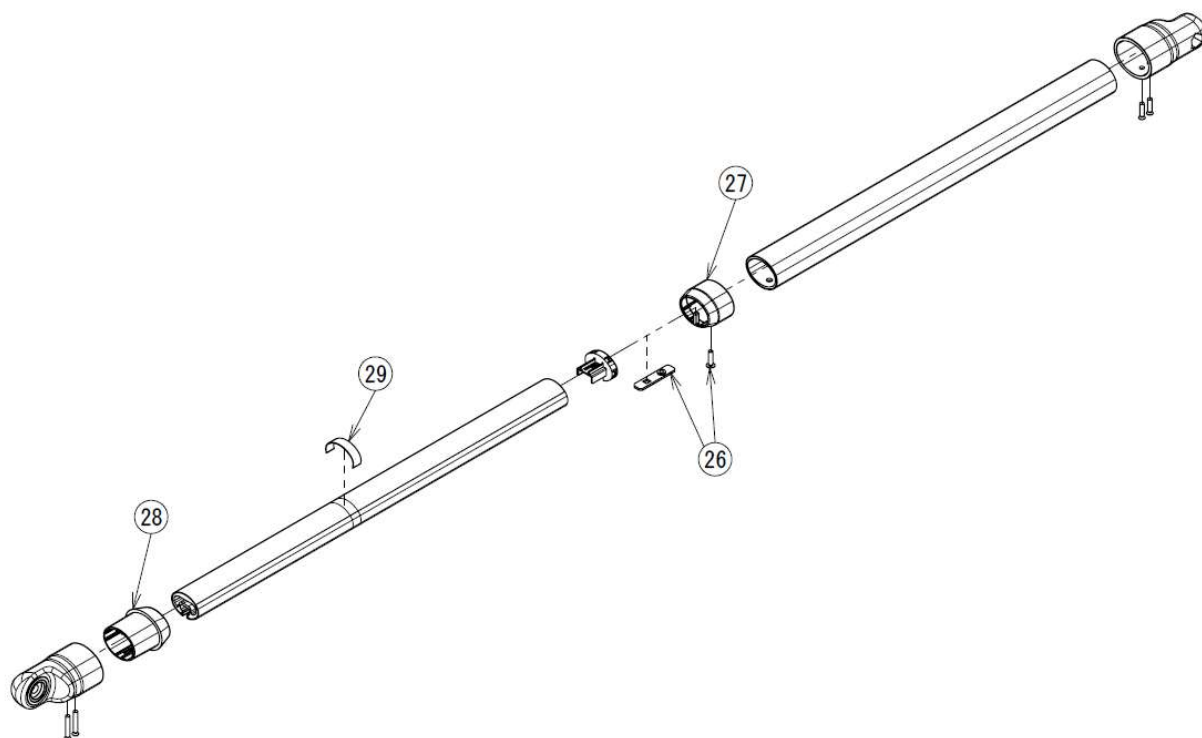
2. 交換部品について ※製品仕様は予告なく変更する場合があります。



3方支柱セット



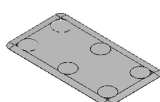
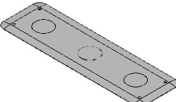
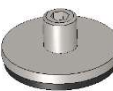
2. 交換部品について ※製品仕様は予告なく変更する場合があります。



E800手すりセット
E1050手すりセット
E1400手すりセット



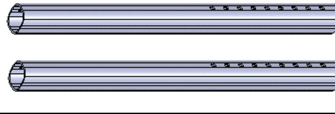
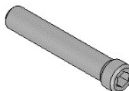
2. 交換部品について

	部品名	画像	部品 コード	税抜 価格(円)
①	AT-CR端面保護カバー70cm(4本)	 ×4本	592585	4,900
②	AT-CR端面保護カバー35cm(4本)	 ×4本	592586	3,800
③	AT-CR端面保護カバーコーナ(8個)	 ×8個	592587	3,600
④	AT-CR端面保護カバー84cm(4本)	 ×4本	592588	5,100
⑤	AT-CR端面保護カバー19cm(4本)	 ×4本	592589	3,500
⑥	AT-C用端面保護カバーボルト(22個)	 ×22個	592227	2,800
⑦	AT-CR滑り止めシートKA-N用(2セット)	 ×2枚	592590	13,200
⑧	AT-CR滑り止めシートKA-S用(2セット)	 ×2枚	592591	12,000
⑨	AT-CR座付きアジャスター(4個)	 ×4個	592592	3,800
⑩	AT-CR L型手すり	 トリ小ねじ M4×12mm  ×2本	592660	14,300

※仕様や価格は予告なく変更する場合があります。
最新の価格につきましては、弊社総合カタログをご参照ください。



2. 交換部品について

	部品名	画像	部品コード	税抜価格(円)
⑪	AT-CRスライド支柱L500(2本) ※高さ目盛りシール付き		592661	5,500
⑫	AT-CRスライド支柱L580(2本) ※高さ目盛りシール付き		592662	5,500
⑬	AT-CR外支柱(2set) ※警告シールと品質表示シール付き		592663	15,400
⑭	AT-CR支柱側面パネル(2セット)	 ×各2本	592664	2,800
⑮	AT-CR位置決め金具(2個)	 ×2個	592665	2,200
⑯	AT-CR高さ調節ボルト(2本)	 ×2本	592666	1,800
⑰	AT-CR支柱キャップ(2個)	 ×2個	592667	2,200
⑱	AT-CR支柱プレートカバー(2個)	 ×2個	592668	2,500
⑲	AT-CRブラケット固定ボルトM4(2本)	トラ小ねじM4×12mm  ×2本	592669	1,350
⑳	AT-CR高さ目盛りシール(5枚)	 ×5枚	592670	3,500

※仕様や価格は予告なく変更する場合があります。
最新の価格につきましては、弊社総合カタログをご参照ください。



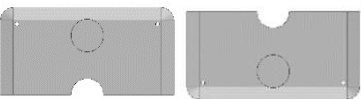
2. 交換部品について

	部品名	画像	部品コード	税抜価格(円)
②①	AT-CR警告シール(5枚)	 ×5枚	592671	3,700
②②	AT-CR左右回転ブラケット		592672	4,400
②③	AT-CRボルトキャップ(2個)	 ×2個	592673	1,700
②④	AT-CR左右回転固定ボルトM8x20(2set)	 ×2本  ×2枚	592674	1,800
②⑤	AT-CR上下回転固定ボルトM8x30(2set)	   ×各2個	592675	2,200
②⑥	AT-CR伸縮固定金具	 	592676	1,800
②⑦	AT-CR小口キャップ		592677	1,500
②⑧	AT-CR手すり(内)スペーサー		592678	1,600
②⑨	AT-CR長さ限界テープ(5枚)	 ×5枚	592679	1,350
③⑩	AT-CR支柱固定ボルトM10&ワッシャー(8set)	 ×8本  ×8枚	592238	4,100

※仕様や価格は予告なく変更する場合があります。
最新の価格につきましては、弊社総合カタログをご参照ください。



2. 交換部品について

	部品名	画像	部品 コード	税抜 価格(円)
③①	AT-CR端部ブラケット		592680	7,700
③②	AT-CR支柱ブラケット受け	 トラス小ねじ M4x12mm 	592681	4,400
③③	AT-CR左右回転接続ブラケット		592682	4,700
③④	AT-CR左右回転固定ボルトM8x45(2set)	 ×2本  ×2枚	592683	2,200
③⑤	AT-CR コ型手すり	 トラス小ねじ M4x12mm ×2本 	592684	13,200
③⑥	AT-CRブラケット補修スプレー		592685	7,200
③⑦	AT-CR端面保護カバー-49cm(4本)	 ×4本	592690	4,400
③⑧	AT-CR滑り止めシートKA-M用(1セット)		592691	9,900
③⑨	AT-CR3方ブラケット	 トラス小ねじ M4x12mm 	592692	6,600

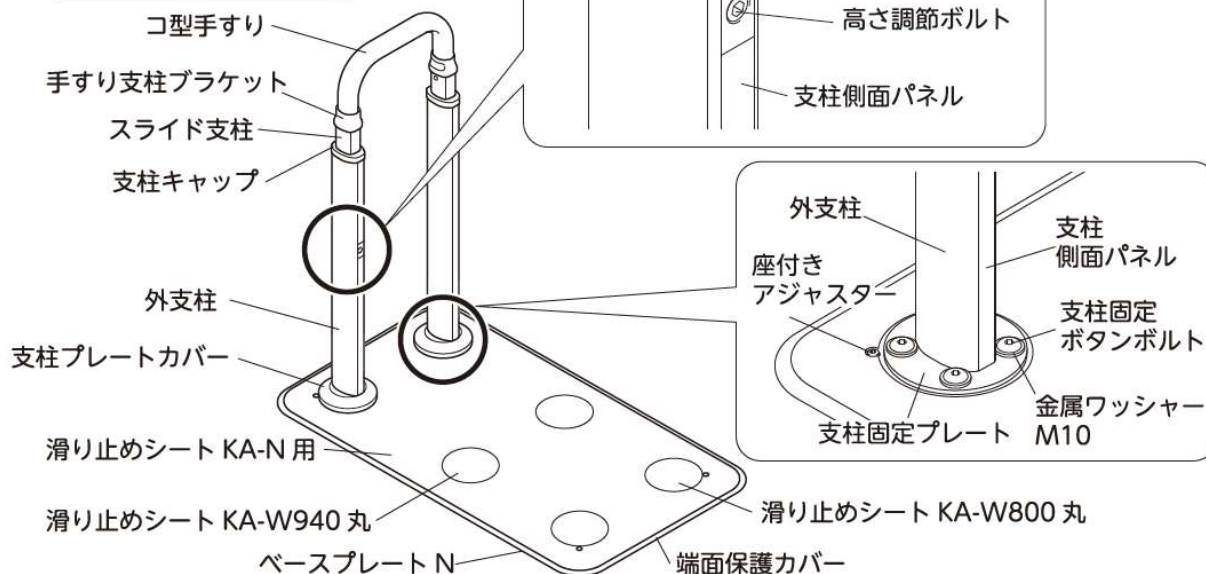
※仕様や価格は予告なく変更する場合があります。
最新の価格につきましては、弊社総合カタログをご参照ください。



3. 使用材料について

各部の名称と仕様

240 シリーズ



品 名	AT-CR-240 / 240T	
構 成 部 材	部 品 名	材 質
	コ型手すり	半硬質塩化ビニル樹脂(抗ウイルス加工)/アルミニウム
	外支柱・支柱側面パネル スライド支柱・位置決め金具	アルミニウム
	ベースプレート 支柱固定プレート 高さ調節ボルト	ステンレス
	手すり支柱ブラケット	アルミニウム合金
	支柱キャップ 支柱プレートカバー	ASA 樹脂
	滑り止めシート KA (N 用・W800 丸・W940 丸)	(表面) 発泡ウレタンゴム (接着面) アクリル系接着剤
	端面保護カバー	塩化ビニル樹脂
サ イ ズ	幅 80 × 奥行 45 × 高さ 76 ~ 91cm	
手すり高さ	75・77.5・80・82.5・85・87.5・90 cm (7 段階)	
重 量	AT-CR-240 : 約 19kg AT-CR-240T: 約 23kg	



抗ウイルス加工
製品上の特定ウイルスの数を減少させます
有機合成系・練込
手すり持ち手部分
JP0612240A0001R

SIAA マークは ISO21702 法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

⚠ 注意事項

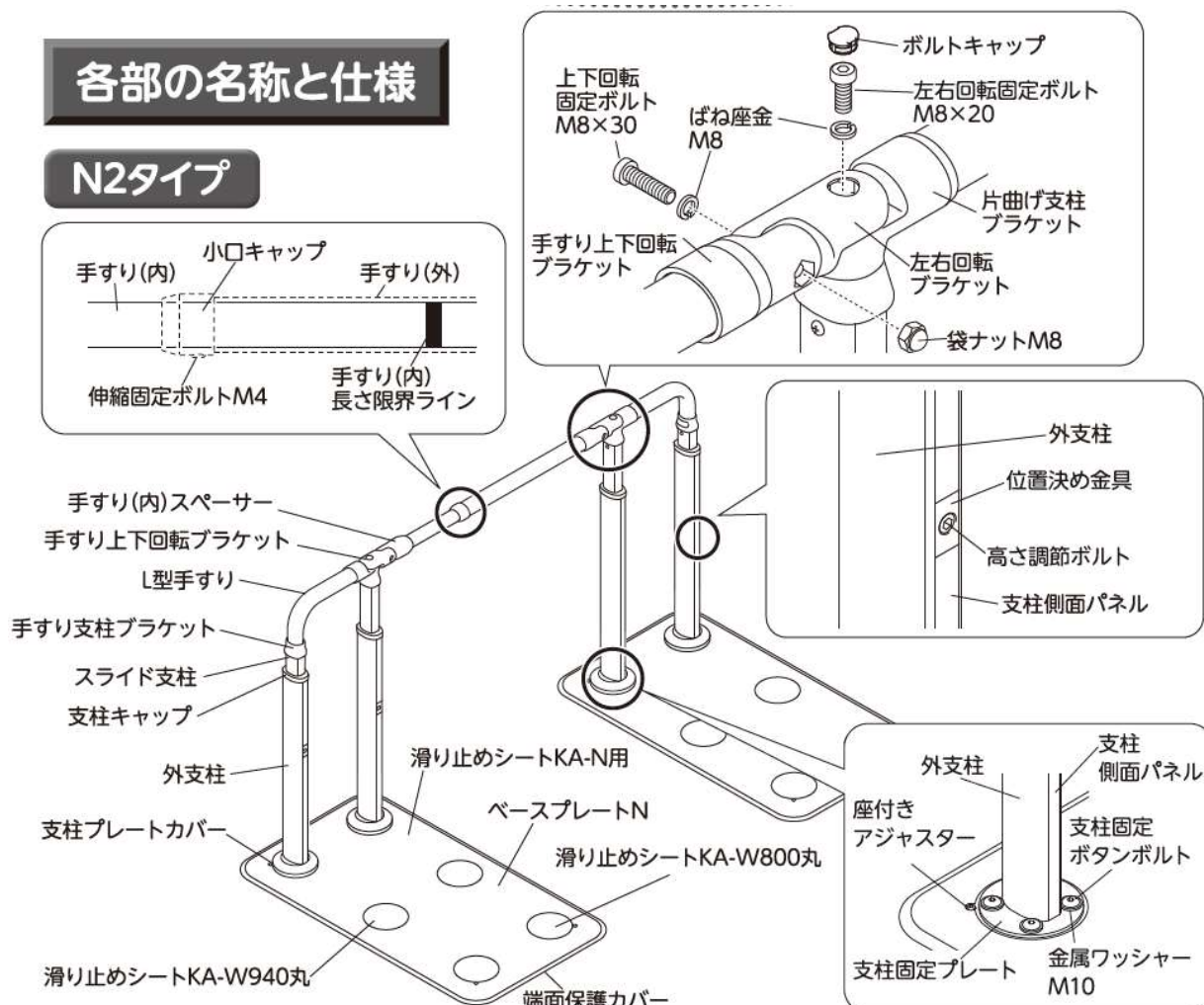
- ・抗ウイルス加工は、病気の治療や予防を目的とするものではありません
- ・SIAA の安全性基準に適合しています



3. 使用材料について

各部の名称と仕様

N2タイプ



構成部材	部 品 名	材 質
	L 型手すり・手すり(内)・手すり(外)	半硬質塩化ビニル樹脂（抗ウイルス加工）／アルミニウム
	外支柱・支柱側面パネル・スライド支柱・位置決め金具	アルミニウム
	ベースプレートN・支柱固定プレート	ステンレス
	各種ブラケット	アルミニウム合金
	支柱キャップ・支柱プレートカバー ボルトキャップ・小口キャップ 手すり(内)スペーサー	ASA樹脂
	滑り止めシートKA（N用・W800丸・W940丸）	（表面）発泡ウレタンゴム・（接着面）アクリル系接着剤
	端面保護カバー	塩化ビニル樹脂



抗ウイルス加工

製品上の特定ウイルスの数を減少させます
有機合成系・織込
手すり持ち手部分
JP0612240A0001R

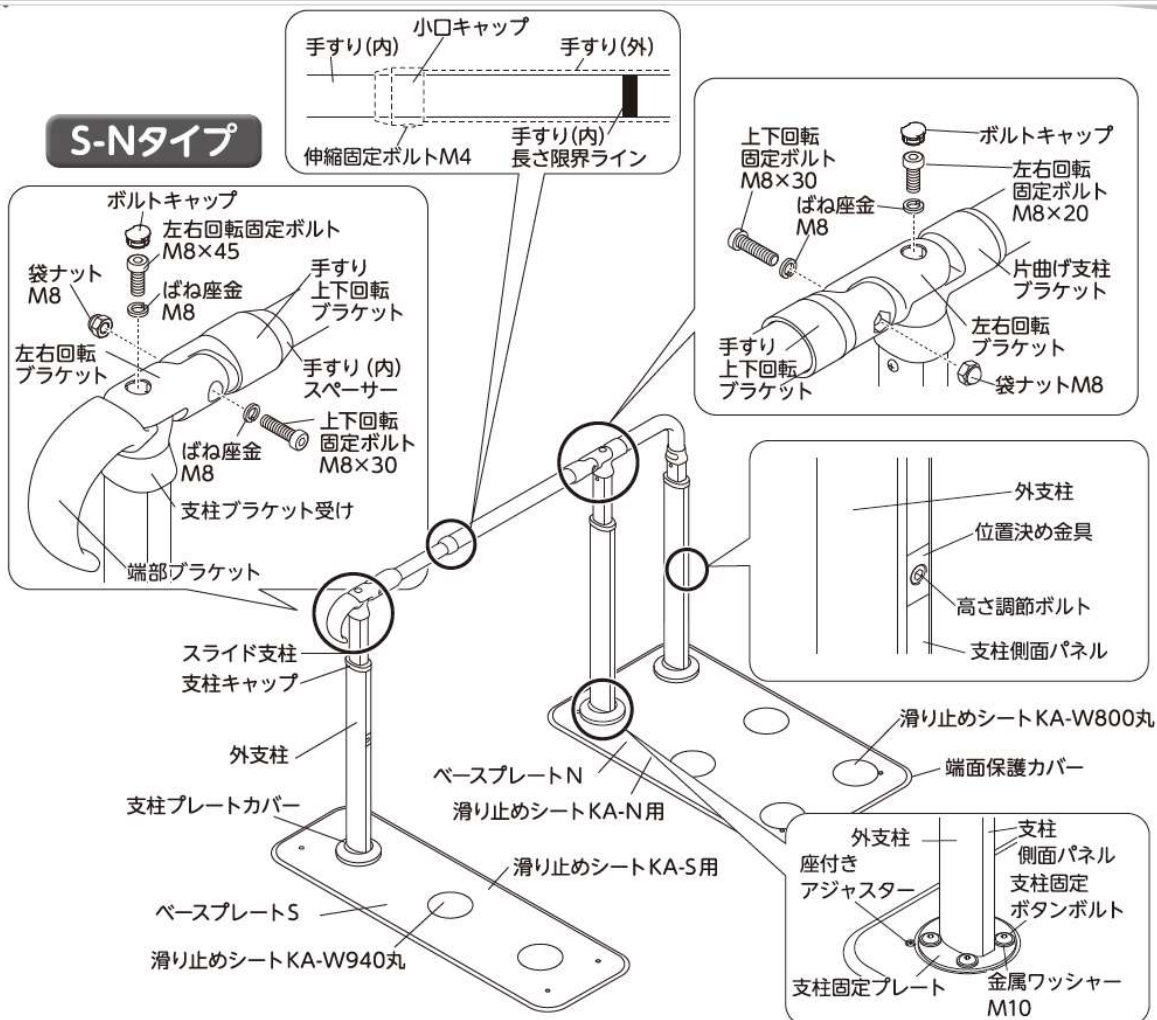
SIAA マークは ISO21702 法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

⚠ 注意事項

- ・ 抗ウイルス加工は、病気の治療や予防を目的とするものではありません
- ・ SIAA の安全性基準に適合しています



3. 使用材料について



構成部材	部 品 名	材 質
	L 型手すり・手すり(内)・手すり(外)	半硬質塩化ビニル樹脂 (抗ウイルス加工) / アルミニウム
	外支柱・支柱側面パネル・スライド支柱・位置決め金具	アルミニウム
	ベースプレートN(S)・支柱固定プレート	ステンレス
	高さ調節ボルト	ステンレス
	各種ブラケット	アルミニウム合金
	支柱キャップ・支柱プレートカバー ボルトキャップ・小口キャップ 手すり(内)スパース	ASA樹脂
	滑り止めシート KA (N用・S用・W800丸・W940丸) 端面保護カバー	(表面)発泡ウレタンゴム・(接着面)アクリル系接着剤 塩化ビニル樹脂



抗ウイルス加工

製品上の特定ウイルスの数を減少させます
有機合成系・繰込
手すり持ち手部分
JP0612240A0001R

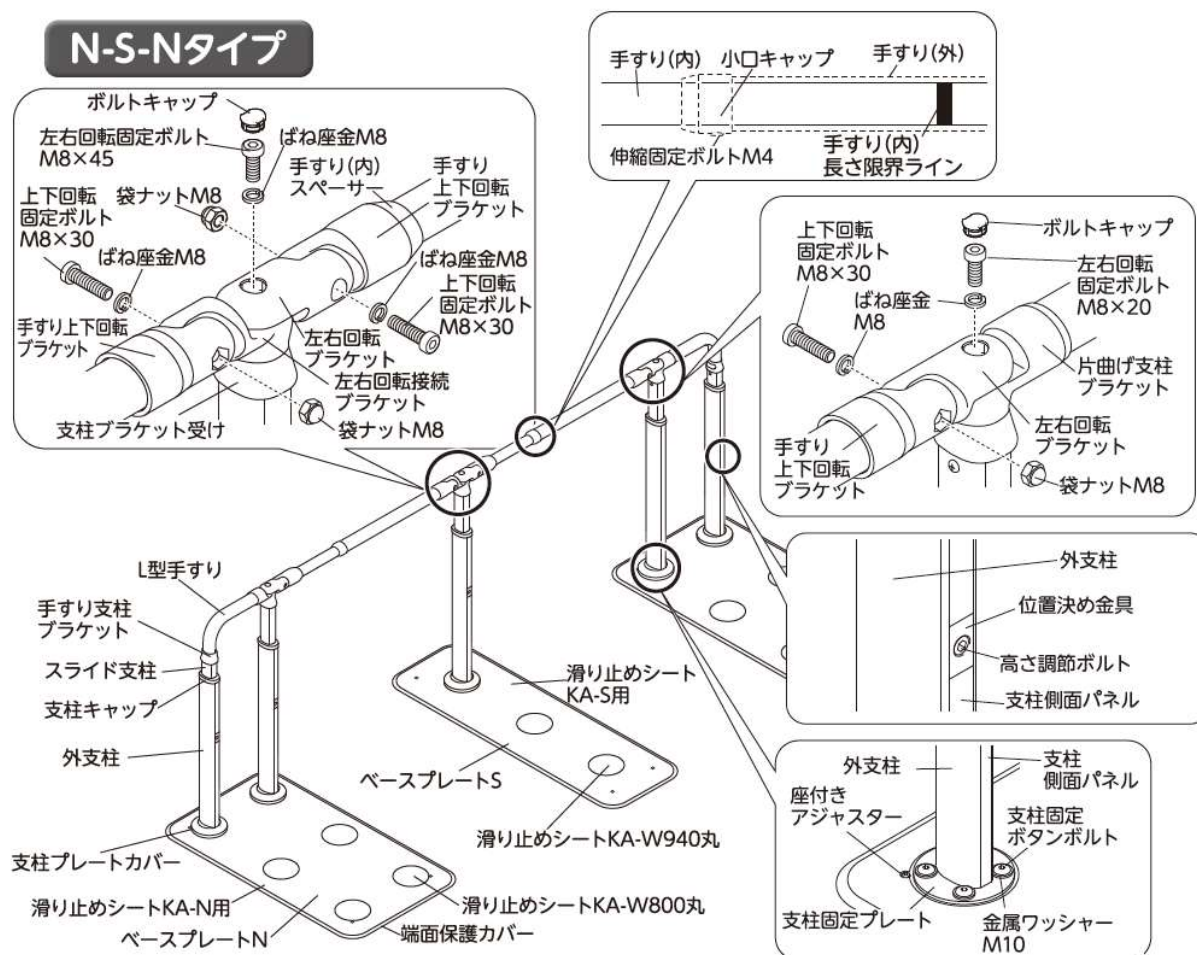
SIAA マークは ISO21702 法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

⚠ 注意事項

- ・抗ウイルス加工は、病気の治療や予防を目的とするものではありません
- ・SIAA の安全性基準に適合しています



3. 使用材料について



構成部材	部 品 名	材 質
	L型手すり・手すり(内)・手すり(外)	半硬質塩化ビニル樹脂（抗ウイルス加工）／アルミニウム
	外支柱・支柱側面パネル・スライド支柱・位置決め金具	アルミニウム
	ベースプレートN(S)・支柱固定プレート 高さ調節ボルト	ステンレス
	各種ブラケット	アルミニウム合金
	支柱キャップ・支柱プレートカバー ボルトキャップ・小口キャップ 手すり(内)スペーサー	ASA樹脂
	滑り止めシートKA(N用・S用・W800丸・W940丸)	(表面)発泡ウレタンゴム・(接着面)アクリル系接着剤
	端面保護カバー	塩化ビニル樹脂



ISO 21702
抗ウイルス加工

製品上の特定ウイルスの数を減少させます
有機合成系・練込
手すり持ち手部分
JP0612240A0001R

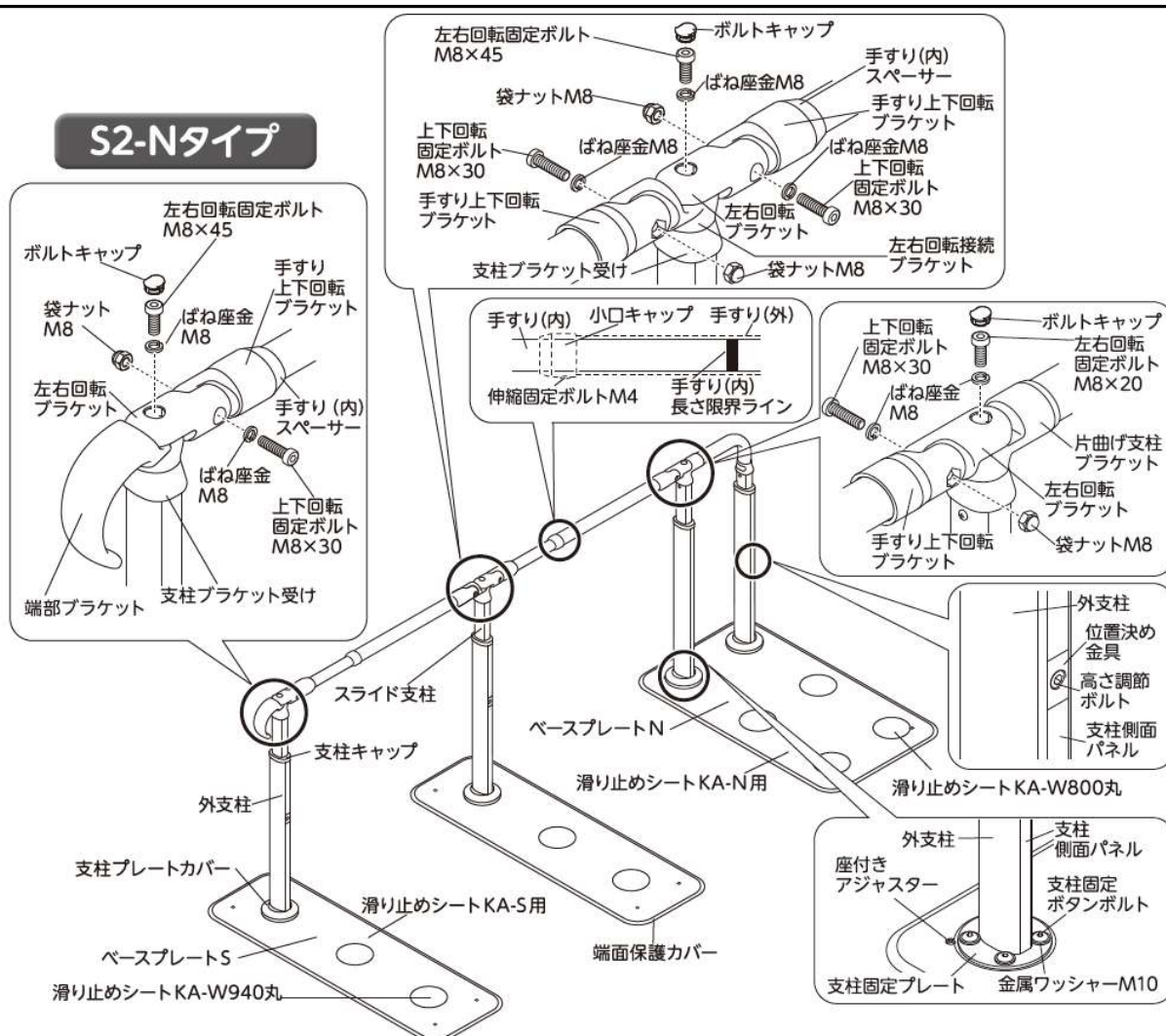
SIAA マークは ISO21702 法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

⚠ 注意事項

- ・抗ウイルス加工は、病気の治療や予防を目的とするものではありません
- ・SIAA の安全性基準に適合しています



3. 使用材料について



	部 品 名	材 質
構成部材	L 型手すり・手すり(内)・手すり(外)	半硬質塩化ビニル樹脂 (抗ウイルス加工) / アルミニウム
	外支柱・支柱側面パネル・スライド支柱・位置決め金具	アルミニウム
	ベースプレート N(S)・支柱固定プレート	ステンレス
	高さ調節ボルト	ステンレス
	各種ブラケット	アルミニウム合金
	支柱キャップ・支柱プレートカバー ボルトキャップ・小口キャップ 手すり(内) スペーサー	ASA樹脂
	滑り止めシート KA (N用・S用・W800丸・W940丸)	(表面)発泡ウレタンゴム・(接着面)アクリル系接着剤
	端面保護カバー	塩化ビニル樹脂



抗ウイルス加工
製品上の特定ウイルスの数を減少させます
有機合成系・線込
手すり持ち手部分
JP0612240A0001R

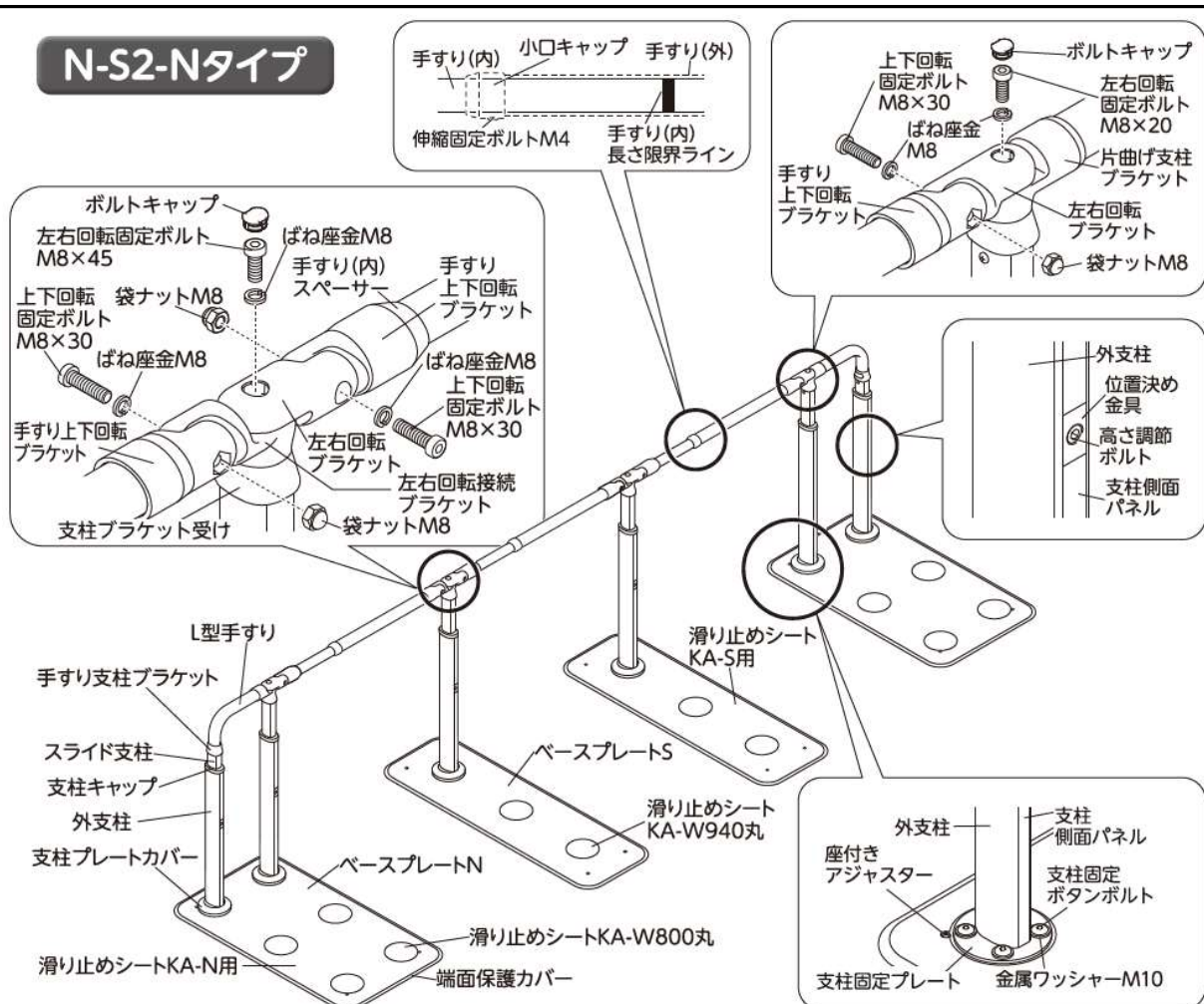
SIAA マークは ISO21702 法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

⚠ 注意事項

- ・抗ウイルス加工は、病気の治療や予防を目的とするものではありません
- ・SIAA の安全性基準に適合しています



3. 使用材料について



構成部材	部 品 名	材 質
	L型手すり・手すり(内)・手すり(外)	半硬質塩化ビニル樹脂(抗ウイルス加工) / アルミニウム
	外支柱・支柱側面パネル・スライド支柱・位置決め金具	アルミニウム
	ベースプレートN(S)・支柱固定プレート	ステンレス
	高さ調節ボルト	ステンレス
	各種ブラケット	アルミニウム合金
	支柱キャップ・支柱プレートカバー ボルトキャップ・小口キャップ 手すり(内)スペーサー	ASA樹脂
	滑り止めシートKA(N用・S用・W800丸・W940丸)	(表面)発泡ウレタンゴム・(接着面)アクリル系接着剤
	端面保護カバー	塩化ビニル樹脂



抗ウイルス加工
製品上の特定ウイルスの数を減少させます
有機合成系・繰込
手すり持ち手部分
JP0612240A0001R

SIAA マークは ISO21702 法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

⚠ 注意事項

- ・抗ウイルス加工は、病気の治療や予防を目的とするものではありません
- ・SIAA の安全性基準に適合しています



4. 交換手順について ※頻度が多いと想定する箇所のみ記載します

(1)端面保護カバーの交換方法

(交換部品①、②、③、④、⑤、⑥、③⑦)



※通常の使用では削れにくいですが、地面を引きずると、樹脂が削れてきます。

必要工具・・・プラスドライバー（JIS2番）



1. ベースプレートを裏返しにして、交換する箇所の皿ボルトをプラスドライバーで回して外してください。



2. 皿ボルトを外したのち、端面保護カバーを手で引っ張ると外れます。



3. 上記を逆の手順で取り付けてください



4. 交換手順について ※頻度が多いと想定する箇所のみ記載します

(2) 滑り止めシートKAの交換方法

(交換部品⑦、⑧、③⑧)

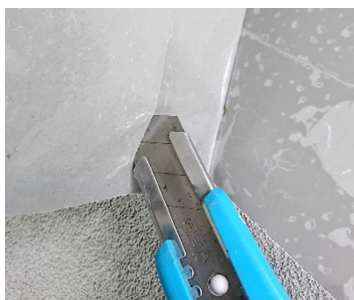


※使用していると、汚れが落ちなくなったり、固いもので擦ると凹凸が潰れます。

必要工具・・・(状況に応じて)カッター、はさみ
圧着作業するためローラーや樹脂ヘラ



1. 交換する滑り止めシートKAを剥がしてください。



※力任せにはがそうとすると大変ですので、
廃棄するシートは部分的にカッターで切りながらはがすと楽に行えます。



剥がした後、汚れなど付着していた場合、アルコール等でふき取ってください。
※シートの接着力が低下する原因となります。



4. 交換手順について ※頻度が多いと想定する箇所のみ記載します

(2) 滑り止めシートKAの交換方法

(交換部品⑦、⑧、③⑧)



2. 新しい滑り止めシートKAの裏側の
中央部分のみ、剥離紙をはがして
ください。

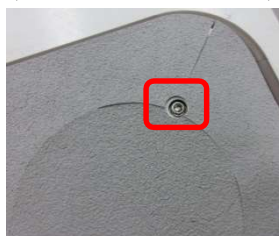
※中央部分のみ取れるように切れ目
が入っています。



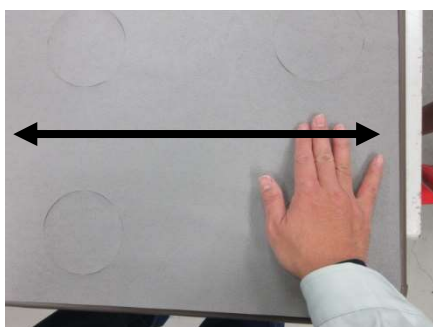
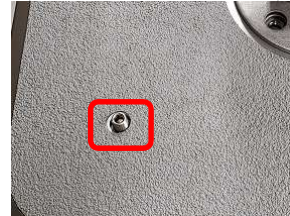
3. 穴位置を合わせ、ベースプレート
の上に載せてください。

※四隅のボルトを目印にすると合わせやすい
です。

(ベースプレートN)



(ベースプレートS)



4. 中央部分をローラーなどで押し付
けて固定してください。





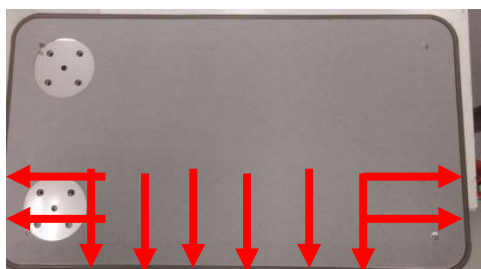
4. 交換手順について ※頻度が多いと想定する箇所のみ記載します

(2) 滑り止めシートKAの交換方法

(交換部品⑦、⑧、③⑧)



5. 片側のみ剥離紙をはがしてください



6. 中央部分から直線方向に貼り付けてください。

※接着部分に空気が入らないように内側→外側に向かって作業してください。



※端面保護カバーの縁までしっかりと圧着してください。

外周の端面保護カバー付近は、シートが浮き上がりやすいので、ヘラやローラーなどで力を入れながら押し付けて貼り付けてください。





4. 交換手順について ※頻度が多いと想定する箇所のみ記載します

(2) 滑り止めシートKAの交換方法

(交換部品⑦、⑧、③⑧)



7. 角部分には切り込みがありますので、しわが寄らないように合わせてください。



8. 反対側も同じ手順で作業してください。



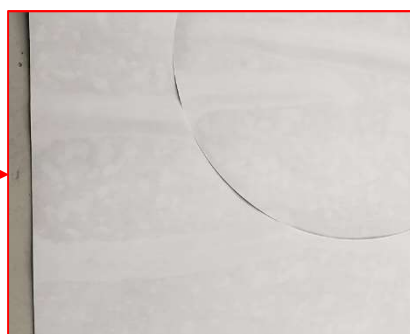
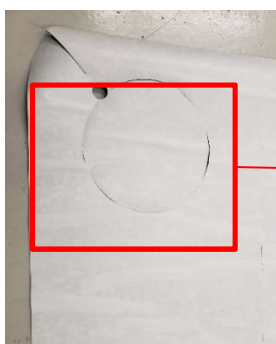
9. 手で全体を軽く触りながら、シート下に空気が入っていないか確認してください。

※もし空気が入っている場合、短時間であれば、一旦部分的にはがしてやり直すか、小さな部分であれば、針などで刺し、空気抜きを行ってください。

<注意>

加工の影響で、接着層と剥離紙の間に空気を巻き込み、シワが発生しています。

→長期間在庫されると、空気に触れている箇所の接着能力が低下していきますので、ご購入いただいた際には速やかに交換作業をお願い致します。



接着層と剥離紙の間に空気が入り込み、シワが発生



4. 交換手順について ※頻度が多いと想定する箇所のみ記載します

(3)支柱キャップと支柱プレートカバーの交換方法 (交換部品⑰、⑱)



※支柱キャップと支柱プレートカバーは、屋外に設置していると、徐々に劣化していきます。
設置環境によりますが、色が薄くなったり、日当たりが良い場所ではひび割れる可能性があります。



1. 交換する部分の支柱に使われている高さ調節ボルトを外します。



2. スライド支柱を引き抜きます。



3. 引き抜いた状態です。支柱キャップは外支柱の穴2箇所凸部が嵌合しているため、外側に広げながら上に引き抜いてください。
支柱キャップを抜いていただければ、支柱プレートカバーはそのまま上に抜けます。



4. 交換手順について ※頻度が多いと想定する箇所のみ記載します

(4)外支柱や側面部材の交換方法 (交換部品⑬、⑭、⑮)



※外支柱や側面パネルは、アルミ製で表面をアルマイト加工処理をしています。
雨水等では表面に汚れが付きますが、サポステ等でふき取れます。
しかし、靴などでぶつけると傷がついてしまいます。



1. (3)樹脂部分の交換方法で記載した状態まで作業し、支柱キャップと支柱プレートカバーを取り外してください。



2. 側面パネルと位置決め金具を外支柱の上から引き抜きます



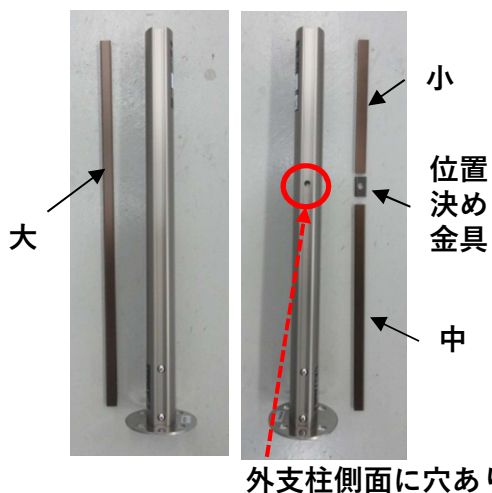
3. 左の写真が取り外した状態です。
部品を交換して、先ほどとは逆の手順で組み立てしてください。



4. 交換手順について ※頻度が多いと想定する箇所のみ記載します

(4)外支柱や側面部材の交換方法 (交換部品⑬、⑭、⑮)

<元通りに組み立てる際の注意点>



1.
側面パネルは大・中・小が1セットとなります。
左の写真のように正しく入れてください。



2.
側面パネルを外支柱に挿入するときは、外支柱の半円部分に凸部を沿わせて入れてください。



4. 交換手順について ※頻度が多いと想定する箇所のみ記載します

(5)スライド支柱の交換方法 (交換部品⑪、⑫)



※スライド支柱は、アルミ製で表面をアルマイト加工処理をしています。
雨水等では表面に汚れが付きますが、サポステ等でふき取れます。
しかし、靴などでぶつけると傷がついてしまいます。

ブラケット固定ボルトM4

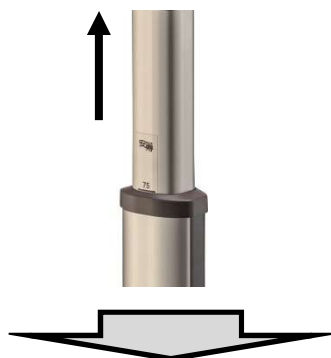
必要工具・・・電動ドリルドライバー
プラスビット(JIS2番)



1.
スライド支柱上部に固定されている
AT-CRブラケット固定ボルトM4を外します。



2.
外支柱に固定されている
AT-CR高さ調節ボルトを外します。



3.
スライド支柱を外支柱から抜きます。

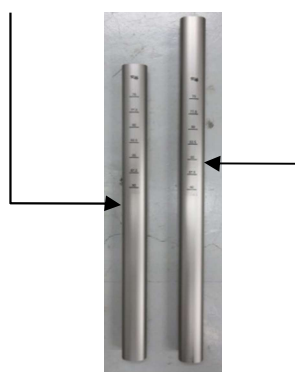


4. 交換手順について ※頻度が多いと想定する箇所のみ記載します

(5)スライド支柱の交換方法 (交換部品⑪、⑫)

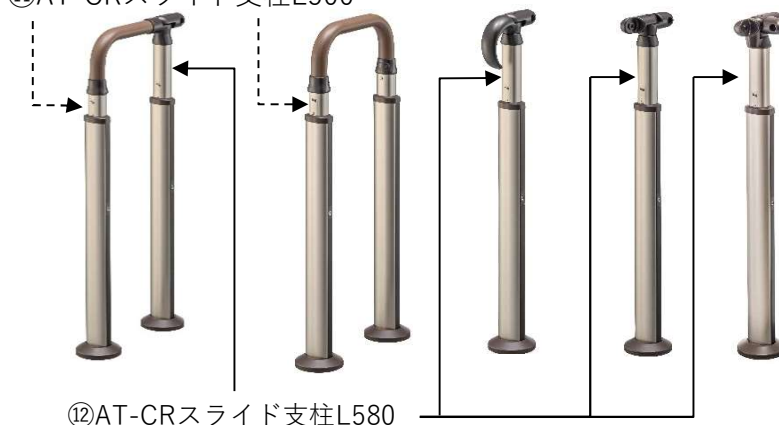
4.
交換するスライド支柱は2種類あります。
交換する支柱をよくご確認ください。

⑪AT-CRスライド支柱L500



⑫AT-CRスライド支柱L580

⑪AT-CRスライド支柱L500



⑫AT-CRスライド支柱L580



5.
交換したスライド支柱に各ブラケットを固定します。

<注意>

ブラケットを固定しているAT-CRブラケット固定ボルトM4は、緩み止め剤付のボルトになりますので、新しいボルトで行ってください。
もし、再度使用される場合、市販品のゆるみ止め剤(低強度)を使用して、取り付けしてください。

<市販品の例>
スリーエム(3M)社製
嫌気性接着剤
ねじゆるみ止め用
TL22J





4. 交換手順について ※頻度が多いと想定する箇所のみ記載します

(6)L型/コ型手すりの交換方法 (交換部品⑩、③⑤)



※手すりは、雨水等による汚れは、中性洗剤などでふき取れば落ちます。しかし、接続されているブラケット同様に硬いもので接触すると、傷がついてしまいます。

必要工具・・・電動ドリルドライバー
プラスビット(JIS2番)

ブラケット固定ボルトM4



1.
スライド支柱上部に固定されている
AT-CRブラケット固定ボルトM4を外しま
す。



2.
ブラケットごと手すりを交換して、新しい固定ボルトで固定してくだ
さい。

<注意>

ブラケットを固定しているAT-CRブラケット固定ボルトM4は、緩み止め剤付のボルトになりますので、各手すりに付属している新しいボルトで行ってください。

手すりのみの交換はご案内しておりません。
手すりとの固定はタッピンネジで固定しているため、同じ箇所への付け直しが困難であり、ご遠慮いただいております。
ご理解の程よろしくお願いいたします



4. 交換手順について ※頻度が多いと想定する箇所のみ記載します

(7)E800/E1050/E1400手すりに関して



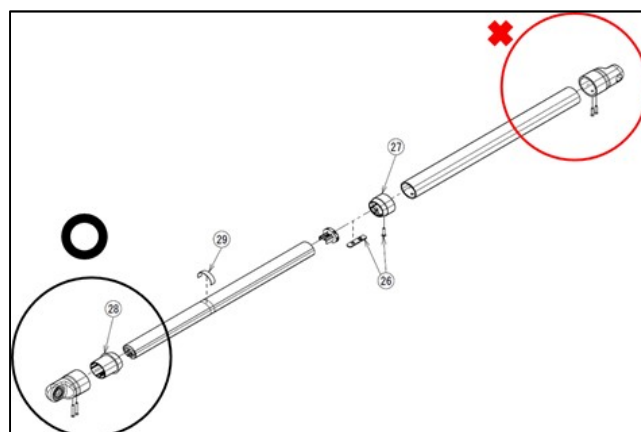
※手すりは、雨水等による汚れは、中性洗剤などでふき取れば落ちます。しかし、接続されているブラケット同様に硬いもので接触すると、傷がついてしまいます。

手すりのみ、あるいは両端部のブラケットの交換はご案内しておりません。

手すりとの固定はタッピンネジで固定しているため、同じ箇所への付け直しが困難であり、ご遠慮いただいております。ご理解の程よろしくお願いいたします

※

部品リストにあります「29. AT-CR手すり(内)スペーサー」と上下回転ブラケットを固定しているボルトは取り外し可能ですが、手すり(外)に取り付けている上下回転ブラケットはタッピンネジになりますので、外さないでください。





4. 交換手順について ※頻度が多いと想定する箇所のみ記載します

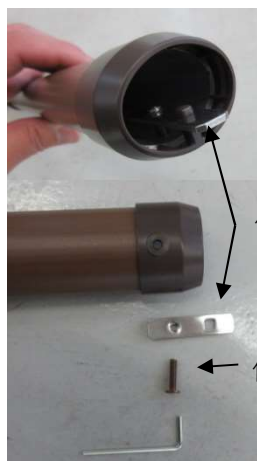
(8)小口キャップや伸縮固定金具の交換方法 (交換部品②⑥、②⑦)



※小口キャップは、屋外に設置していると、徐々に劣化していきます。
設置環境によりますが、色が薄くなったり、日当たりが良い場所ではひび割れする可能性があります。

必要工具・・・L型六角レンチ(2mm)

伸縮固定ボルトM4



伸縮固定金具

伸縮固定ボルトM4

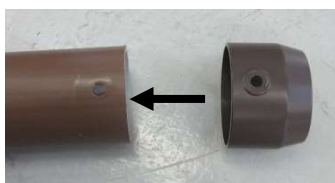


1.
小口キャップ下側にある伸縮固定ボルトM4をL型六角レンチ(2mm)でゆるめ、手すり(内)を引き抜いてください。
2.
手すり(外)の内側に伸縮固定金具がありますので取り外し、小口キャップを手で引き抜いてください。



4. 交換手順について ※頻度が多いと想定する箇所のみ記載します

(9)小口キャップや伸縮固定金具の交換方法 (交換部品②⑥、②⑦)



伸縮固定ボルトM4

3.
手すり(外)に支柱キャップをはめ、伸縮固定金具を支柱キャップ内側の凸部にはめ、伸縮固定ボルトで仮固定してください。

<注意>

伸縮固定金具に方向性があります。ボルト固定する箇所(凸部)が上向きになるように小口キャップにはめてください。

伸縮固定金具

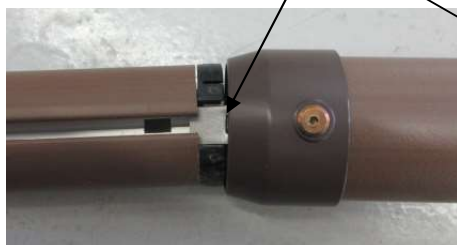


手すり(内)開口部



伸縮固定金具

4.
手すり(内)の黒色の樹脂部品がある方向から、手すり(外)を差し込みます。
その際に、手すり(内)の開口部に伸縮固定金具の先端を差し込みます。

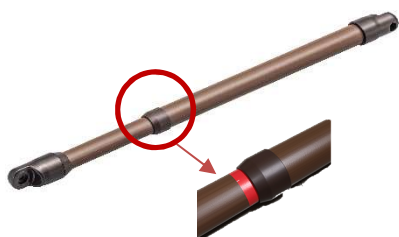


5.
任意の長さに調節して、伸縮固定ボルトを固定してください。



4. 交換手順について ※頻度が多いと想定する箇所のみ記載します

(10)長さ限界テープの交換方法 (交換部品②⑨)



※手すり(内)に貼付している長さ限界テープも繰り返し伸縮行為をすると剥がれやすくなります。

必要工具・・・L型六角レンチ(2mm)
スケール



1.
小口キャップ下側にある伸縮固定ボルトM4をL型六角レンチ(2mm)でゆるめ、手すり(内)を作業がしやすい程度に抜いてください。

2.
手すりスペーサーからシールまでの距離を測定し、各サイズの適切な長さになるようにシールを貼りかえてください。



各サイズ別の長さ設定値

E800手すり：151 ± 1.2mm
E1050手すり：251 ± 1.2mm
E1400手すり：351 ± 1.2mm

<注意>

設定範囲を超えた場合、手すりがたわみやすくなりますので、必ず準拠してください。



4. 交換手順について ※頻度が多いと想定する箇所のみ記載します

(11)高さ目盛りシールの交換方法 (交換部品⑳)



※スライド支柱を繰り返し上下作動されるとシールが剥がれやすくなります。

必要工具・・・スケール



1. 交換する部分の支柱に使われている高さ調節ボルトを外します。



2. スライド支柱を引き抜きます。



3. ブラケット下部から各スライド支柱に合わせた位置を確認し貼り付けてください。



5. 外観補修について

※頻度が多いと想定する箇所のみ記載します

①ブラケットの補修方法



※各手すり接続部に使用しているブラケット（アルミニウム合金）は、設置環境にもよりますが、紫外線の影響により退色することがあります。

必要工具・・・マスキングテープ
飛散防止処置に必要なもの



1.
塗料が付着してはいけない箇所にマスキングテープや養生処理をしてください。

※手すりは外さないでください。



2.
ブラケット補修スプレーをよく振り、ブラケット全体に少しずつ塗装を行ってください。



592685 AT-CRブラケット補修スプレー



5. 外観補修について

※頻度が多いと想定する箇所のみ記載します

②手すりの補修方法



※手すりは、握る・つたって歩く程度では傷がつきにくいですが、金属等で叩くなど行くと傷が発生します。

必要工具・・・ウエスなど

補修する方法が無い場合、外観上で明らかに不具合が発生した場合は、ご利用を中止していただき、交換をお願いいたします。



5. 外観補修について

※頻度が多いと想定する箇所のみ記載します

③滑り止めシートKAのお手入れ方法



※滑り止めシートKAは凹凸の隙間に入ると汚れが付着しやすいことがあります。

必要工具・・・高圧洗浄機
市販のオキシクリーンなど

<1年間屋外暴露した結果>



空気中の排気ガスや土足で踏むことで付着する汚れが黒い斑点模様状態で発生する。



<各種メンテナンス方法で実施した結果>



最もきれいになったのは、コストコ社製のオキシクリーンでたわしで擦った場合、新品状態にはならないが、大部分の汚れは除去されている。

※全ての汚れを取ることは難しいため、凸部が無くなったり、激しく汚れた場合は、シート交換をお勧めします。



6. その他

注意事項

1) 保管について

- ①火気に近づけないこと、また高温になる場所に保管しないこと
- ②荷物を重ねたり、圧力が加わる状態で保管しないこと
- ③取扱説明書は本体と合わせて保管し、いつでも確認できるようにすること

2) お手入れについて

- ①次にあげるものではお手入れしないこと
 - ・シンナー ・クレゾール ・塩素系薬剤や熱湯をかけての殺菌、消毒
 - ・磨き粉 ・塩素系洗剤 ・酸、アルカリ性洗剤
 - ・タワシ ・研磨剤入りのスポンジ ・その他製品を傷つけるもの
- ②オゾンガス、ホルムアルデヒドガスを用いた消毒を行わないこと。

3) 廃棄について

- ①廃棄については各自治体の指示にしたがって処分、廃棄すること

●製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります

製品に関するご意見
・お問い合わせは

お客様相談室 フリーダイヤル ☎ **0120-86-7735**
(受付時間) 祝祭日以外の月～金 10:00～16:00 (12:00～13:00はのぞく)

- ・お客様からいただいたお電話は、内容確認のため、録音させていただいております。
- ・個人情報は適切に管理し、ご相談への回答などの情報提供のみに利用いたします。

製造・発売元

 **TOAGOSEI グループ**



アロン化成株式会社

ライフサポート事業部

〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6 住友不動産日比谷ビル8階

URL <https://www.aronkasei.co.jp/>

安寿

検索

25.7 919268-3